

単元案の概要

単元名:街角外国語ワード・ウォッチング:我々の住む町は中国語圏から来る観光客に優しい街かを検証しよう					
科目名	中国語	作成日	2015年9月13日	作成者	西香織
学年/年次	1年	クラス人数	20人	使用教材	なし
話題分野	地域社会と世界	言語レベル	2	必要時間数	授業内約6時間+授業外(調査、成果物の作成)
単元目標					
<p>「我々の住む街は中国語圏観光客(一時滞在者)に優しく親切な街か?」を検証することを目的に、学習者がグループで、地域の交通機関、観光スポット、商業施設、飲食店など自分の身近なところに中国語があるかどうかを調査し、中国在住の中国人大学生にその意味、使われ方が正しいか、分かりやすいかなどを中国語で調査、検証したうえで、日中対訳の成果物(スライド)をグループのメンバーで協働して製作する。その中で学習者が主体的に自他の言語・文化・グローバル社会の各領域において気づきを得、そこから積極的に外部にはたらきかける基盤を作る。</p>					
コミュニケーション能力指標					
<p><b>【交通と旅行】</b>                      1-d. 施設の案内表示や街中の標識を見て理解できる。                      2-k. 車内や駅などに書いてある、交通ルールやマナー表示文を見て理解できる。</p> <p><b>【人とのつきあい】</b>                      2-h. 定型表現を使った、簡単な手紙やメールを、書いたり読んだりできる。</p> <p><b>【地域社会と世界】</b>                      1-e. 自分の住んでいる町や都市の、有名な場所や食べものなどを言うことができる。                      2-a. 自分たちの住んでいる町や都市について紹介する簡単な資料を作ることができる。                      2-b. 自分の住んでいる町や都市に対して思っていることを話すことができる。                      2-d. 日本や相手の国の有名人や建築物について、口頭または文章で紹介できる。</p> <p><b>【オリジナル指標】</b>                      ・ある外国語表記が正しいか、分かりやすいかを目標言語話者に確認できる。                      ・ある外国語表記についての問題点や改善点を成果物としてスライドにまとめることができる。</p>					
学習活動の流れ					
語彙・表現習得活動			学習シナリオ		
<p>既習の文法、句型を主に使用したため、必要に応じて既習項目を復習。                      中国の大学生にBBSなどで確認する前に必要な語彙をその都度、補充(グループによって必要な語彙は異なるため、個別対応)。</p>			<p>&lt;場面状況&gt;                      北九州市立大学中国学科1年2組(20名)では、福岡県や北九州市など自分たちの住む地域を中心に、自分たちの身近にある交通機関や商業施設、観光スポット、飲食店にある中国語表記を探し、それらが正しいか、日本に初めて来る中国語圏の人びとにとって分かりやすいかを検証することにした。</p>		

	<p>&lt;活動の流れ&gt;</p> <p>①プロジェクトの説明をし、各自で街で中国語表記の写真撮影など資料収集をおこなう。グループ分け(5グループ)。</p> <p>②成果発表の評価基準表、進行予定表の配付、WEB等公開承諾書の記入。</p> <p>③武蔵大学の韓国語クラスと横浜市立大学のドイツ語との連携プロジェクトのため、ウェブ上(グループウェア)で互いの学習言語と日本語で自己紹介(グループごとに自己紹介スライドの作成)。</p> <p>④テーマを決定。グループごとにさらなる調査を行う。</p> <p>⑤集まった資料(中国語表記の写真など)を元に、中国語母語話者への質問項目を選定し、中国語表記のチェック依頼。BBS、Eメール等を利用して、全て中国語で、中国語母語話者(中国T大学3年生26名)に質問、確認。</p> <p>⑥日中対訳の成果物(スライド)の作成。</p> <p>⑦クラス(授業)内でグループごとに主に日本語でプロジェクトの報告、評価・感想。</p> <p>⑧成果物(スライド)の修正、提出。</p> <p>⑨ウェブ上(グループウェア)に成果物をアップし、他言語クラスと共有して交流を図る。</p>
<p>評価活動</p>	
<p>形成的評価</p>	<p>総括的評価</p>
	<p>プロジェクト報告会での成果物(スライド)及び発表を教員と学生で評価</p> <p>自己(自己グループ)評価:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1)～6)を1～5点の五段階で評価</li> <li>1)発表態度(声・表情など)、2)スライドの内容の分かりやすさ、3)スライドの見やすさ、工夫、4)大学生らしいテーマ・内容、5)作業過程でのグループへの貢献、6)チームワーク</li> <li>・自由記述</li> <li>自分のグループの良かった点・反省点、今回の活動を通じてどのような気づきが得られたか等</li> </ul> <p>他者(他グループ)評価:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1)～4)を1～5点の五段階で評価</li> <li>1)発表態度(声・表情・チームワークなど)、2)スライドの内容の分かりやすさ、3)スライドの見やすさ、工夫、4)大学生らしいテーマ・内容</li> <li>・自由記述</li> <li>一言書き添えておきたい、この発表の良かった点(感想)、こうすればもっとよくなると思った点等</li> </ul>

### 3×3+3 分析表

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>街にある中国語表記について知り、その意味を理解する。</li> <li>簡体字・繁体字の違いを理解する。</li> <li>街の中国語表記の誤りに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>街のトイレなどの中国語表記を通して中国文化圏の文字や習慣について理解し、その違いや関係性に気づいたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語がわからない人のために、日本の交通機関、飲食店、観光地、商業施設などに外国語表記が必要であること、ただ日本語を直訳するだけでは不十分なこと、文字情報の他にも必要なものがあることを理解する。</li> </ul>
できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国語を使って、交通機関の中国語表記など身近な事柄について、他者に情報を伝えたり、理解したりできる。</li> <li>街の中国語表記と日本語表記を比較して、その共通性や相違性などを分析することができる。</li> <li>中国語と日本語で成果物を作成することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本と中国語文化圏の文化や習慣の違いから、街の中国語表記について改善点などを考えたり提言したりできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>街の中国語表記についての問題を解決するために、グループで調査を進め、中国語母語話者に確認するなどして分析を行い、調査結果に基づいて、問題点及び自分たちの考えを表明することができる（高度思考）。</li> <li>BBS、Eメールを活用して情報収集を行うことができる（ICT活用）。</li> <li>グループで分担したり協力したりしながら成果物（スライド）をまとめ、発表することができる。</li> </ul>
つながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国語を使って中国在住の中国人大学生とBBSやEメールなどで主体的に対話を行い、街の中国語表記が正しいか、分かりやすいかなどの情報交換を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BBS やEメールを通じて中国在住の大学生と、文化や習慣の違いから日本に来て困ったことなどについて情報交換を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BBS、Eメールを活用して中国語で収集した情報を日中対訳の成果物にまとめ、中国語や他の言語クラスなどに向けて発信できる。</li> </ul>
三連携	<p>【学習者】自分のごく身近にある外国語表記</p> <p>【教室外】中国在住の中国人大学生（中国語母語話者）、他大学他言語クラスの学生、地域の人々（駅員、観光地の係員、飲食店店長など）</p> <p>【他教科】既習の中国語の語彙や文法、地域社会</p>		